

第12回いとしま 8.6 平和劇

SORA-空-

～海軍航空隊玄界基地の物語～

知っていますか？

水上爆撃機最大の秘匿基地が
ここ糸島にあったことを



2024年8月9日(金) 19:00 開演
10日(土) 14:00 開演

30分前に開場します

梶原瑞雲作「沖縄へ出撃」

会場 伊都文化会館 多目的ルーム

糸島市前原東2丁目2-7

駐車場には限りがございます。満車の場合は近隣のコインパーキングをご利用ください

チケット 小中学生 200円 高校生以上 500円

※いかなる場合もチケット購入後の変更・払い戻しは、できませんのでご了承ください

※小学生未満のお子様もご覧いただけますが、席が必要な場合は有料となります

※当日券も販売いたしますが、満席の場合はご容赦ください

※Google フォームでもご予約を受けておりますのでご利用ください



チケット
販売箇所

酒みせ ちきゅう屋 (志摩小金丸 2105-1)
教育会館 (泊 1393-5)
(一社)糸島市観光協会 (筑前原駅北口)
糸島の音楽スタジオ グリーンコード (二丈武 581)

お問合せ

✉ 86peace.act@gmail.com
FB <https://www.facebook.com/86heiwa>
☎ 090-6840-7200 (嵯峨)



主催：いとしまハローピースアクト 共催：福岡県退職教職員協会 糸島支会

後援：糸島市 糸島市教育委員会 (一社)糸島市観光協会

協賛：東洋アミューズ株式会社 QTnet

九州・沖縄から文化カプロジェクト(文化庁)承認事業



【物語のあらすじ】

毎日のように食卓に上がってくるイカに嫌気がさし、途中で食事を止めてしまう小学 5 年生の璃子。そんな璃子を祖母が散歩に誘う。学校で雷山空襲の話聞いたばかりの璃子は、祖母に戦争体験のことを尋ねる。そして、自分の住む地域一帯が戦争の跡地であることを知る。秘匿基地である海軍航空隊玄界基地が糸島市志摩の引津校区にあったのだ。当時の生活の様子や、兵隊さんのことを熱心に聞く璃子。そして空を見上げる。苦しみや悲しみの中にも小さな喜びや幸せを感じながら必死に生き抜いた当時の人々のことを思う。そして…

脚本・監修：江川佳世 表現指導：水上初佳
取材・資料提供：中田健吉 大部節子 志摩歴史資料館
参考文献：ぶんぶん・ワークス編「パノラマ玄界基地」ほか
画像・映像協力：ネットファン 渡邊精二（糸島写真館）
舞台・音響・照明：東洋アミューズ株式会社
主な出演者：糸島市内の小中高生と大人たち

船越湾から見た竹ノ越山(左中央)と可也山(右)

【海軍航空隊玄界基地とは】

戦争末期になると、敵からの空襲を避けるため、基地であることが分からない基地＝秘匿基地が置かれるようになりました。学校や寺院・民家を活用しながら、兵器や機材も集めていました。そして、いつでも攻撃できるように、若い兵士の訓練が行われていたのです。ここ糸島にもこの秘匿基地や軍事施設が設置され重要な役割を果たしていました。1945 年（昭和 20）5 月に、志摩船越・久家地区に設置された水上爆撃機最大の秘匿基地が玄界基地です。フィリピン島戦や沖縄戦へ出撃した後は、本土決戦に備える最後の決戦基地でした。沖縄戦では、夜間攻撃などに延 111 機が出撃し、還らざる『瑞雲』は 20 機を数えます。秘匿基地という特性上、詳しいことは知られていませんでした。地元の有志が、郷土糸島の歴史を後世に伝えるために、少ない資料の中から年数をかけて調査され、当時の写真や、兵員として糸島へ来ていた方の手記を集められました。きっかけとなったのは、当時偵察員として糸島に在隊しておられた方から送られた『瑞雲飛翔』という一冊の本でした。その後、記念碑を建てることとなり、他の在隊者とも連絡を取る中で、当時の状況が少しずつ分かり始めたのです。

施設は、船越地区周辺に分散して置かれ、兵員も千数百人にのぼると言われており、彼らは基地周辺の民家や寺院などに分宿しました。久家地区には 1500 人を賄える規模の炊炊所跡も残っています。

後世に語り継いでほしい「戦争といのちの大切さ」

終戦の年はまだ 2 歳の幼児。従って戦争中の生活体験の記憶は、私には一切ない。我が家は、船越に二軒あった銭湯の一軒で、東風呂と呼ばれていた。昭和 20 年に入り、燃料の石炭が無くなった。

在庫の石炭がなくなれば休業する事にしていたが、3 月頃に海軍から「石炭は海軍で調達するから、風呂を使わせてくれ」と、要請があったそうで、母の言葉を借りれば、「兵隊さんが風呂に来た時は芋の子を洗うようであった」との事である。時は流れ、頭の片隅に残ったままの母の言葉の背景や輪郭が、徐々にあるいは急速に明るみになって来た。きっかけとなったのは、梶山治上飛曹著の『瑞雲飛翔』という一冊の本。梶山治氏には感謝感激でお礼の言葉もない。地元の史実をまず知って、未来に語り継いでほしい。それが平和につながると信じている。（中田健吉）

整備兵の方々が来られたのは終戦間際の昭和 20 年 7 月 28 日。約 3 週間しかおられなかったけれど、皆さんとても優しく、終戦後は特によく遊んでくださり、大きなお兄さんができたようでした。なにより皆さん揃ってご帰郷なさったことをうれしく思いました。外国の戦争の悲惨な様子をテレビで見ながら、日本は良い国になったと思っています。憲法第 9 条をいつまでも守り続け、後世につないでくださいますようお願いいたします！（大部節子）



大部節子さん

終戦当時小学 2 年生
大部さんのお宅にも
整備兵 4 名が寄宿
していた



中田健吉さん

玄界基地のことを
長期間かけて調査
された功労者
新修志摩町誌執筆
にも携わる

ご来場の皆さまへのお願い

新型コロナウイルス感染症は 5 類へ移行となりましたが、まだ不安の多い状況です。必要時はマスクの着用をお願いします。



クラウドファンディングにも挑戦中!!

動画配信ご希望の方はこちらから♪(7/31×切)
他にもリターンを用意していますのでご覧ください！



活動を支援して下さる賛助会員も募集しています！

団体・企業会員 一口 2000 円/5000 円 個人会員 一口 1000 円

*平和劇当日のパンフレットに広告やお名前を掲載させていただいています
詳細はメールでお問い合わせください

参加者 & スタッフ随時募集中！

見学・体験もできますのでお問い合わせください♪